

おおむね1億2,000万円、市の補助額の約7倍というとらえ方もできるのではないかと考えています。また、今回の実施分については、前回は1人5万円までという購入制限をしておりましたが、これをさらに少額に制限することなどにより多くの皆様に購入いただけるよう、商工会議所等で検討されています。

東大洲拠点地区開発

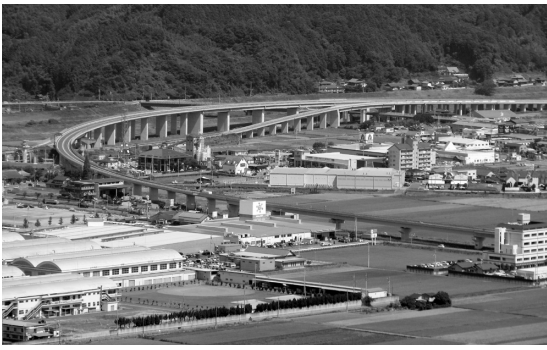
問 大型店舗出店について

答 東大洲地区の大洲道路東側の部分となるオズメッセの反対側の農地に、ダイキ株式会社新たなショッピングセンターの建設を計画されています。

平成19年5月に当市に対し出店の意思表示があり、当市としても、この地区は大洲拠点地区内ということから、開発に必要な条件整備を行うこととしました。現在は、農用地区域の外及び農地転用許可、さらに都市計画の分野で地区の特性に応じてルールを定め

る地区計画の導入、用途地域の拡大、変更等について関係機関と協議を進めているところですが、その中で農用地区域の除外及び農地転用については、国の方針が食料自給率を高めるため優良農地を保全するという規制強化に向けた流れとなっているため、協議が難航している状況です。

ダイキ株式会社側も、当初から事業着工までにはある程度の期間がかかることは想定しているということですが、当市としても、当面農地にかかわる規制等の調整を行いつながら、国、県



都市計画用途地域の拡大が進む東大洲拠点地区

及びダイキ株式会社と継続して協議を進めていきたいと考えています。

阿蔵・高山用地開発

問 用地活用策について

答 阿蔵・高山用地の活用計画については、平成

16年11月の阿蔵・高山用地整備検討班会の報告書をもとに、公共施設用地や企業誘致候補地などさまざまな可能性について検討をしてきたところですが、財政状況の悪化から、現在大洲市では公債費負担適正化計画を策定し、平成24年度決算時を目標として財政健全化に向けての取り組みに邁進しているところであり、財源確保の観点からも具体的な利用計画の策定には至っていないというのが現状です。

一方、このような中で、将来の開発計画に直接影響しないエリアのうち、森林として存続させることによって水源涵養機能等の増進につながると思われる場所については、国、県等の補



今後の利用計画を検討中の阿蔵・高山用地の一部

助事業や森林ボランティア活動を導入した森林整備を実施しているところです。

今後の具体的な利用計画については、さまざまな角度から精査して、財政状況などをよく勘案しながら、地域の活性化が図れる整備計画として検討を続けていきたいと考えています。



元気いっぱい
運動会!



長浜中学校



喜多小学校



大洲乳児保育所